

科目名 (英)	衛生学 (Public Health and Food Hygienics)	必修 選択	必修	年次	1		
学科・コース	お菓子専科	授業 形態	講義	総時間 (単位)	30 (1)	開講区分	前期

【授業の学習内容】

衛生法規・公衆衛生学・食品衛生学という広範囲の内容のうち、特に製菓に関連の深い食品衛生学(食中毒の予防・安全な製品の提供に必要な条件等)の知識を正しく習得することが重要です。
 ※実務者経験:2000~2012年に京都大学医学部不測病院、川越病院にて病院栄養士として献立作成・栄養指導(個人・集団)を担当。2008年度より日本野菜ソムリエ協会 認定講師、2012年より日本健康食育協会 認定講師として、食品の特徴・栄養について講義を担当。2016年4月よりクリニックでの外来栄養指導(主に糖尿病などの生活習慣病)を担当、その他一般市民向けの講演と多数担当し、食品の栄養と健康への貢献を具体的に説明するという経験を多数積む。

【到達目標】

(目標①)食品衛生の基礎や食品の変質と防止について学び、食中毒をはじめ食品が原因となる事故や疾患を防ぐための知識を習得する。
 (目標②)食品従事者の衛生管理やHACCPについて学び、就業先での衛生管理に必要な知識を習得する。
 (目標③)公衆衛生学で「健康」の定義と疾患予防・健康増進について学ぶことで、自身の健康管理に役立てると共に今後の社会で価値が高まる食健康のニーズをつかむ。
 (目標④)衛生を守るための基盤となる衛生法規を学び、社会の健康・衛生管理の仕組みを知る。

授業計画・内容	
1回目	衛生法規：法律概論・一般衛生法規・環境衛生法規・労働衛生法規
2回目	衛生法規：消費者政策関連法規・食品表示関連法規／公衆衛生学：概論・健康と健康増進
3回目	公衆衛生学：保健統計・疫学・生活習慣病・環境保健・産業保健・ライフステージと健康 ★復習プリント配布
4回目	★1~3回目確認テスト実施および解説
5回目	公衆衛生学：感染症の予防／食品衛生学：概論・食品と微生物
6回目	食品衛生学：食中毒概要・細菌性食中毒① ★復習プリント配布
7回目	食品衛生学：細菌性食中毒②・食中毒の予防・ウイルス性食中毒 ★復習プリント配布
8回目	★5~7回目確認テスト実施および解説 (感染症・食中毒を繰り返し復習する)
9回目	食品衛生学：自然毒・化学性・菓子食中毒・食品の変質と防止
10回目	食品衛生学：食品と化学物質・飲食に伴う食中毒以外の健康危害 ★復習プリント配布
11回目	★9~10回目確認テスト実施および解説
12回目	食中毒総まとめ
13回目	食品衛生学：食品従事者の衛生管理 (HACCPを中心に)
14回目	★全体確認テスト実施 および解説
15回目	まとめ 復習プリント・確認テストの総復習
準備学習 時間外学習	範囲が非常に広く覚える用語も多いため、授業プリントの復習だけでなく、用語まとめプリントの提出、確認テストでの知識習得を重ね、随時復習を重ねることが大切です。
評価方法	知識習得を高めるために随時提出物や確認テストを行い、国家試験と同形式での定期テストでの合格点を目指していただきます。 ●定期テスト(100%)

【使用教科書・教材・参考書】

製菓衛生師教本 下:(一社)全国製菓衛生師養成施設協会
 製菓衛生師 全書:日本菓子教育センター